

**AWS を利用して PCI DSS 準拠をめざすユーザ向けのクラウドサービス
「 PCI DSS Ready Cloud AWS モデル 」 を 2017 年秋に提供開始
「 VPC 提供型 」 と 「 セキュリティコンポーネント提供型 」 を展開**

クラウドサービス「PCI DSS Ready Cloud」「Cloud Token for Payment Card」および「BIZTEL コールセンターPCI DSS」を展開する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田元治）は、2017年秋にAWS上でPCI DSS準拠を支援する『PCI DSS Ready Cloud AWS モデル』の提供を開始します。

2017年3月8日（水）に経済産業省が主導する「クレジット取引セキュリティ対策協議会」が発表した「実行計画2017（※1）」を受けて、カード情報を取扱う事業者はカード情報の非保持化またはPCI DSS準拠を行う必要があります。

※1「クレジット取引セキュリティ対策協議会」が発表した実行計画
http://www.j-credit.or.jp/security/pdf/plan_2017.pdf

これらの課題に対し、PCI DSSに準拠しなければならないサービスプロバイダー（決済代行事業者・BPO事業者・Fintech事業者等）においては、準拠に必要なコストをおさえるために、サーバリソースを共有するAmazon Web Services（AWS）を利用するケースが増えています。一方、AWS上で稼働するサーバ環境でPCI DSSに準拠するには、ユーザ企業自らがセキュリティシステムの一部を構築する必要がありますが、「PCI DSS Ready Cloud AWS モデル」を利用することによって、これらの構築が不要になるだけでなく、安価かつ迅速にクレジットカード情報を取り扱うことができるようになります。

「PCI DSS Ready Cloud AWS モデル」は、既にAWS上で運用されているユーザ向けにPCI DSS準拠に必要なセキュリティコンポーネントのみを提供するプランに加え、新規にAWS上で構築するユーザ向けにサーバ環境まで組み合わせた「VPC（※2）型」の2つのプランを提供します。

※2 VPC：Amazon Web Servicesが提供する「仮想プライベートクラウド」のこと

■ 「PCI DSS Ready Cloud AWS モデル」各プランと料金

プラン	月間利用料	初期費用
セキュリティコンポーネント提供型	35万円～	160万円～
VPC提供型	50万円～	

※ 参考：リンクが提供するセキュリティプラットフォーム

- ・ PCI DSS Ready Cloud プライベートクラウドモデル <http://pcireadycloud.com/feature/>
- ・ Cloud Token for Payment Card <http://pcireadycloud.com/token/>
- ・ BIZTEL コールセンター PCI DSS <http://pcireadycloud.com/biztel/>

リンクはカード情報の非保持化や PCI DSS 準拠を求められているクレジットカード加盟店・事業者に対し、さまざまなサービスを通じて、より安全にクレジットカードの決済が行える環境の構築・運用を支援してまいります。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティングを軸として、クラウド型ホスティング・クラウド型テレフォニーサービス、セキュリティプラットフォームサービスなど、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月から岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業内容の詳細は、<http://www.link.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社リンク
担当：滝村・松本

〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目3番37号カナダ大使館ビル1階
TEL：03-5785-0555 / FAX：03-5785-2277
Eメール：takimura@link.co.jp
：matsumoto@link.co.jp